

広域行政 ニューズレター

第14号 2005.1

発行 福島県総務部市町村領域広域行政グループ
〒960-8670 福島市杉妻町 2-16
U R L <http://www.pref.fukushima.jp/kouiki/>
E-mail kouiki_gyousei@pref.fukushima.jp
電話 024(521)7058 Fax 024(521)7904



☞ メ ニ ュ ー

市町村合併インタビュー（会津若松市・北会津村）

- ・会津若松市合併対策室長 五十嵐司也氏
（元会津若松市・北会津村合併協議会事務局長）
- ・会津若松市北会津支所長 加藤明男氏
（元北会津村総務課長）

市町村合併に関する最近の動き

Q&A「市町村建設計画」



会津若松市合併対策室長 五十嵐司也氏 （元会津若松市・北会津村合併協議会事務局長）へのインタビュー

“ 賽（さい）は投げられた ”
～ 覚悟を決めて合併に邁進した日々～

平成の合併県内第一号である会津若松市と北会津村の合併についてお聞きしました。

合併協議に携わった感想をお聞かせください。

合併とは、地域にとって「大変なこと」です。50年近く別々の自治体だったものが一つになるわけです。編入合併であれ新設合併であれ、自ら考え、自ら議論し、自ら決定することを新しい自治体へ譲ることになります。最初は、総務省のマニュアルに従って事務を進めるだけでしたが、次第に合併の重大性に気づかされました。

市町村合併は、国がそれを言ったから動いたわけではありません。市町村が、このままでは適切な行政サービスができなくなると考えたからです。合併とは、厳しい社会経済環境下における市町村の生き残りをかけた取り組みに他なりません。

合併協議の事務についてですが、行政は、前例踏襲は得意ですが、初めて取り組むこと



会津若松市合併対策室長 五十嵐司也氏

は苦手です。昭和の大合併は、50年ほど前のことであり、参考にできるものはありませんでした。

住民への説明も難しいものがありました。

北会津村は、編入される側であるため、住民の関心が高かったのですが、会津若松市は編入する側であり、自分たちの生活は変わらないだろうという認識から、北会津村ほど関心は高まらなかったと思われます。国の財政状況、三位一体の改革、地方交付税など住民には専門的すぎることが多いということも一因ではないでしょうか。地方自治がどういう仕組みで成り立っているのか、なぜ会津若松



市と北会津村の合併なのかを理解してもらうのは、なかなか大変な作業でした。

合併協議・準備で苦労した点は何ですか。

合併協議では、会津若松市議会で議員の定数と任期の取扱いの議案が、否決になったことに衝撃を受けました。

次に合併の準備ですが、まず大変だったのは、電算システムの統合です。それと条例について、約60本の新制定と一部改正の作業が発生したわけですが、規則や要綱を含めると相当の作業になりました。

合併記念式典も意外と苦労しましたね。1,300人くらいお呼びしたのですが、どういう人を呼べばよいのか悩みました。前例のないことなので、他県の事例を参考にしました。

それから北会津村では、住民投票が行われたのですが、これについては、今までの経緯から大丈夫だろうという思いがあったので、それほど動じませんでした。

合併協議に携わってよかったことは何ですか。

50年に一度の大事業に携わることができたことです。合併は、やりたくてもやれることではないですからね。いい機会に恵まれました。

それと、合併協議会の職員も大いに勉強になったと思います。合併協議では、各部の仕事を把握しなければならないので、役所全体を見渡す視点を養うことになります。彼らの今後の糧になっていくと思います。

合併協議に携わる職員へのアドバイスををお願いします。

平成の合併は、とかく財政論議から入りがちですが、これだけではお互いの悪い部分を見つけて非難しあうことになります。財政はもちろん大事ですが、一步進んで、合併する市町村が一体となり、どういうまちづくりをしていくのかを十分に話し合うことが大切だと思います。

我々は、任意協議会において合併協定基本4項目（合併の方式・合併の期日・新市の名称・新市の事務所の位置）等基本的事項についてどういう形にするのかと、新市の合併ビジョンをどうするのかを議論しました。会津若松市と北会津村は合併して何を目指していくのかについて、いろいろな考え方があったものを統一していきました。時間をかけてこの議論を行ったことがよかったと思います。

意外と合併協議会の中で細かな問題が議論され、まちづくりは議論されないのではないのでしょうか。私は、合併とは新しいまちづくりであり、合併協議会の中ではまちづくりの議論が第一と考えます。

それから、首長が合併の意思を決めたら、職員は一致団結して、その実現に向け突き進むことですね。合併というのは、仕事量もありますし、精神的プレッシャーもあります。それを乗り越えなくてはなりません。

また、会津若松市と北会津村の合併が成就したのは、菅家市長と庄條村長の信頼関係のおかげだと思います。首長間の信頼関係は、自然と職員間の信頼関係に反映されてきます。両首長は、考えが揺らぐことはなかったですね。



北会津支所長 加藤明男氏（元北会津村総務課長）へのインタビュー

“彼を知り己を知れば百戦危うからず”
～合併後に分かる準備の大切さ～

会津若松市と北会津村の合併から現在までについてお聞きしました。

合併するにあたり、住民からどのような問い合わせがありましたか。

住所が変更になることに関する問い合わせが多いですね。最も多いのは、運転免許証の住所変更手続きについてです。多くの方が運転免許を持っているので、予想はしていましたが、かなり多かったです。

その他には、鍼・灸・マッサージ利用助成、高齢者温泉利用券助成等、合併後新しく適用されたサービスに対する問い合わせが多かったです。

支所の開所準備は、順調でしたか。

順調であったと思います。開所準備作業のなかで大きなウェイトを占めるのが電算システムや戸籍の記載事項等の変更ですが、これらは合併の直前に対応しなければならないものです。そのため、合併の前日と前々日に集中して行いましたが、市村間での連携強化や村本庁職員総出の対応により円滑であったと思います。

また、組織替えにより、3課33人体制となり、事務所の配置替えを行いました。全て1階



会津若松市北会津支所長 加藤明男氏

フロア - にまとめたのですが、合併日前が土日であったことから、引越しをそのときに行うことができ、住民への影響は無かったと思います。

合併前と比べた職場の雰囲気はどうか。

合併直後の現状として、業務範囲の拡大や一國二制度対応、人事異動に伴う業務替え等のため、職員の負担は増えていると思いますが、住民サービスを低下させないように、前向きな姿勢で緊張感をもって取り組んでいます。

本庁と支所という形態になって連携はどうですか。

今のところ連携はスムーズですね。なお、合併後当分の間現行どおりとする業務や、敬老会・ホテルまつり事業など旧北会津村独自の業務を行う際には、本庁との十分な調整が必要となりますね。

現在のところ支所の2階3階は使っていないとのことですが、これからどのように利用するのですか。

空きスペースの利活用につきましては、合併前に庁内で利活用の案を作成し、それに基づく住民アンケートを実施しました。その結果、2階については、支所に隣接する公民館機能の一部を入れる案が選ばれました。3階につままし





会津若松市北会津支所

では、行政と住民が協働する地域づくりを推進するための住民活動の拠点や議場を音楽堂として利用する案が選ばれました。

なお、これらにつきましては、新市建設計画における中学校や公民館等の公共施設建設との関連もあることから、本庁と支所での検討組織により十分に検討し方向付けをしていきたいと考えます。

現時点で見えてきた合併の効果、改善点はありますか。

一ヶ月を過ぎたばかりで、見えてこないのが現状です。合併の効果、改善点は、業務によっては年度内に現れるものもあろうかと思いますが、多くは来年度以降に現れると思われるし、新たな苦情もいただくと思います。

最後に合併に関わる職員へアドバイスををお願いします。

合併直後は、職員総じて業務範囲の拡大等により負担が増えますが、住民対応などで不手際があると合併の成果を問われることも出てきますので、合併前に増して待遇には配慮すべきだと思います。また、合併関係団体との速やかな一体化の構築を踏まえ業務を遂行しなければなりません。

そのためにも、合併関係団体の担当者間での詳細な事務すり合わせが非常に重要です。旧北会津村では事務すり合わせの一部を合併協議会事務局に任せられた部分があり、合併後に本庁との考えの相違に気づいた職員もいるくらいです。

どの協議会でも担当者や管理職における事務調整の仕組みは構築すると思いますが、業務ごとに詳細にすり合わせしているか否かが問題です。

編入合併の場合は、編入先の運用に合わせるものがほとんどだと思いますが、ややもすると従来の業務を各自が振り返らず編入先任せとなります。事務すり合わせの際は、相互の業務を把握することはもちろんのこと、合併後に発生すると予想される問題にまで踏み込んだ調整が必要です。そうしないと合併後に住民から、こんなはずではなかったとの苦情をいただくこととなります。

また、人事異動により新しい業務に就く職員もいるので当然事務引継ぎは行われますが、これも詳細にしなければなりません。些細なことでも文書に残すことが大切です。合併に際してはより配慮しなければなりません。

市町村合併に関する最近の動き

(平成16年10月～平成17年1月)

- 16.11.1 会津若松市、北会津村の2市村が合併
- 16.11.8 桑折町が伊達7町合併協議会から脱退
- 16.11.15 飯館村が南相馬合併協議会から脱退
- 16.12.17 県議会が「滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町」「須賀川市、長沼町」「須賀川市、岩瀬村」「会津高田町、会津本郷町、新鶴村」の合併の議案を可決
- 16.12.20 県知事が前記4合併を決定し、総務大臣に届出
- 16.12.21 湯川村が会津若松市・河東町・湯川村合併協議会から脱退
- 17.1.18 総務大臣による前記4合併の告示(合併効力の発生)
- 17.1.19 小高町が合併の賛否を問う住民投票を実施(賛成4,158票、反対2,435票)
- 17.1.24 伊達町、梁川町、保原町、霊山町、月館町が伊達5町合併協議会を設置

17.1.24 現在





おーちゃん

かんちゃんを見るときはいつもこんな渋い顔。



かんちゃん、会津若松市合併対策室長さんのインタビュー記事を読んだかい。



もちろん、北会津支所長さんのと併せて、もう5回読んだよ。



それは読みすぎだと思うが・・・。

ところでかんちゃん、室長さんのインタビューで市町村合併はまちづくりの議論が大切とあったけど、新市のまちづくりが具体的にどのようなようになるか分かるかい。



ハッハッハ。おーちゃん、お前もか。私を見くびっちゃいけませんか。

「会津ブランドをいかしたまちづくり」だよ。



おいおい、かんちゃん、基本目標だけ言ってもダメだよ。

もっと具体的に。

それを知っているなら当然分かるよねえ。



そもそも市町村合併の背景は、モータリゼーションの進展とモーターボートが・・・ムニャムニャ。グリーンツーリズムの推進とグレコローマンスタイルが・・・ムニャムニャ。



エーッ、かんちゃん、分からない!?

しかも小声でデタラメなことを言ってたぞ。



えへへ。(顔は丸いが、指摘は鋭い。)



かんちゃん

見た目のとおりひねくれ者。好きな言葉「ブルータス、お前もか。」¹



かんちゃん、新市のまちづくりは「市町村建設計画」を見れば分かるんだよ。

市町村建設計画とは、市町村の合併に際し、合併関係市町村の住民に対して合併市町村の将来に関するビジョンを与え、これによって住民が合併の適否を判断するという、いわば合併市町村のマスタープランとしての役割をはたすものである。そして合併後はこれに基づいてまちづくりが展開されるのである。



さすがおーちゃん、急に口語体から文語体になっているけど、すばらしいよ。(まるで本の丸写しみたいだ。)

とにかく、これを見れば新市が分かるってことだね。



そうだよ。合併協議会におけるまちづくりの議論の結果が、この市町村建設計画なわけ。

とても大切なものだから、住民の方々みんなに見て欲しいよね。

かんちゃんもよく見て新しいまちを想像してみて。



そうか。それはすばらしいものだね。ぼくも見てみよう。どれどれ。

なに-!!おーちゃん、平成26年度の諸収入が・・・ムムー!!昭和55年の人口が若干・・・。



よりによってそこに興味を持つとは。(視点がずれている上に細かい。一番ムダの多いタイプ・・・。)

1 カエサル(古代ローマの政治家)がもっとも信頼していた部下ブルータスに裏切られたときに言った言葉。

合併協議会の設置状況

法定協議会 12団体(41市町村) 伊達6町合併協議会を除く

任意協議会 2団体(4市町村)

(平成17年1月24日現在)

区分	組織名	関係市町村	合併期日 (予定)	新市町村名	備考
法定	伊達5町合併協議会	伊達町、梁川町、保原町、 霊山町、月舘町			H17.1.24設置
	伊達6町合併協議会	伊達町、国見町、梁川町、 保原町、霊山町、月舘町		伊達市	
	二本松・東北達地方合併協議会	二本松市、安達町、 岩代町、東和町	H17.12.1	二本松市	
	田村地方5町村合併協議会	滝根町、大越町、都路村、 常葉町、船引町	H17.3.1	田村市	H17.1.18 総務大臣 による合併の告示
	須賀川市・長沼町合併協議会	須賀川市、長沼町	H17.4.1	須賀川市	H17.1.18 総務大臣 による合併の告示
	須賀川市・岩瀬村合併協議会	須賀川市、岩瀬村	H17.4.1	須賀川市	H17.1.18 総務大臣 による合併の告示
	白河市・表郷村・大信村・ 東村合併協議会	白河市、表郷村、大信村、 東村	H17.11.7	白河市	
	会津若松市・河東町合併協議会	会津若松市、河東町	H17.11.1	会津若松市	
	喜多方地方5市町村合併協議会	喜多方市、熱塩加納村、 塩川町、山都町、高郷村	H18.1.4	喜多方市	
	会津高田町・会津本郷町・ 新鶴村合併協議会	会津高田町、会津本郷町、 新鶴村	H17.10.1	会津美里町	H17.1.18 総務大臣 による合併の告示
	田島町・館岩村・伊南村・ 南郷村合併協議会	田島町、館岩村、伊南村、 南郷村	H18.3.20	南会津町	
	南相馬合併協議会	原町市、鹿島町、小高町	H18.1.1	南相馬市	
任意	福島市・川俣町・飯野町合併協議会	福島市、川俣町、飯野町			
	本宮町・白沢村任意合併協議会	本宮町、白沢村			
	相馬市・新地町任意合併協議会	相馬市、新地町			

合併期日及び新市町村名は、協議会で決定された内容です。

編集後記

今回生まれて初めてインタビューの仕事をしました。お二人に的を射た質問をしなくてはということと、読者の参考となる内容にしなくてはということ、冷や汗いっぱいのインタビューでした。

果たして、お二人のすばらしいお話が皆様にうまく届いたでしょうか。(幹)